

# 新潟日報

題字 會津 八一

発行所  
新潟日報社

〒950-1189  
本社 新潟市西区善久772-2  
郵便振替口座 00620-2-538

代州道人

しゅうざんどうじんは會津八一の雅号  
(監修・會津八一記念館)

おほらかにひと日を咲きてうつろへる  
泰山木の花の色かも  
花終わったり。大きな花弁いっばいに開いた泰山木の花、  
つかのま燦々と純白の花を咲かせ萎れてしまった。この花の  
意志的とさえ思える潔さに作者は共感している。

報

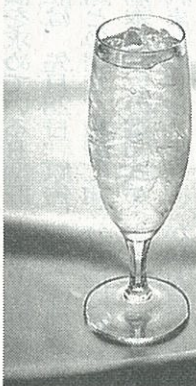
日本酒の売り上げが落ち込む夏の消費拡大策として、県内の酒造メーカーが新商品の販売などに力を入れている。氷を浮かべても薄味にならないよう、アルコール度数の

高い原酒を夏季限定で発売したり、さっぱりしたカクテルを提案したりと知恵を絞る。各社は「日本酒で涼を取ってもらい、節電にもつなげたい」と売り込みに懸命だ。

## さっぱりしたカクテルに

# 夏も日本酒

## アルコール高め氷入れて



吉乃川が提案中の「サキニック」写真①と尾畑酒造が考案した「日本酒ロック×クラッシュアイス」

県酒造組合によると、日本酒の県内出荷量(2010年)は、月別で12月が8145キログラムで最多。8月はビールの需要に押され、2647キログラムと最も少なかった。例年、多くのメーカーが夏季限定で原酒を発売するが、酒類卸売業の県酒販(新潟市東区)は「今年は例年より限定酒が増える」とみる。昨年の猛暑で売り上げが減った危機感や、冷たい日本酒で

## 県内限定販売や企画続々

涼を取り、節電につなげたいとの考えからだ。尾畑酒造(佐渡市)は夏季限定の「真野鶴CL E.A.R」を新発売。アルコール度数は通常より2度ほど高い17度で、尾畑留美子専務は「氷で薄めることでバランスが良くなる」と勧める。クラッシュアイスで割ったスタイルは、新潟ブランドホテル(新潟市中央区)が週末に開くカフェレストで楽しめる。

布を予定する。菊水酒造(新潟田市)は、辛口1800ミリリットルなど6種類を夏季限定で販売する。同社は「今夏はサマータイムの実施などで帰宅時間が早まり、

家庭で日本酒を飲む人が増える」と分析。日本酒に合う家庭料理の写真も付ける。また、今年発売した県産の洋ナシ「ル・レクチエ」を使用したリキュール「エ」を使用したりキュー

ル「Le 菊水 720」でも夏場需要を掘り起こす。「冷やしてストリート、オン・ザ・ロット」クヤカクテルでも楽しめるとアピールする。このほか「涼しいイメー」の雪室熟成酒を販売(妙高市・千代の光酒造)。「夏に重宝する手ぬぐいとセット」(阿賀

町・麒麟山酒造)などの動きもある。「日本酒は多様な飲み方ができる」と若い世代に知ってほしい。「新しい飲み方を定着させたい」と各メーカー。日本酒離れが進む世代を主なターゲットにPRを強める。

吉乃川(長岡市)は、同社の日本酒を使ったカクテル「サキニック」と「フレッシュトマトミスト」を今年から、県内の飲食店に提案している。いずれも東京のバーで提供中で、クラッシュアイスなどが入り、さっぱりした味。スーパードラッグ店で、試飲会やレシピ配